

アンテナの組立方法

このアンテナを正しくご使用いただくために、説明をよくお読みください。

品番 **ULX14P2** 品名 **UHF14素子アンテナ(弱電界地域用、ch.13~34)**
出力端子F形座仕様、Uステー付

● 組立完成図 (水平偏波受信時)

① 反射器の組立
蝶ナットを一度ゆるめ反射器が確実にロックされるまで開き、固定した後に蝶ナットを確実に締め付けてください。
締付けトルク: 1.5~2N・m

② Uステーの組立
蝶ナットをゆるめこの部分から最初にアームにとりつけてください。
締付けトルク: 2~3N・m

③ 給電部の取付
給電部の突起をアームの穴に入れ、蝶ボルトでしっかりと締め付けてください。
締付けトルク: 1.5~2N・m

④ マストへの取付 (適合マスト径: φ22~56mm)
垂直偏波用穴
金具固定ボルト
蝶ナット
金具固定ボルト
マスト押え金具
締付けトルク: 4~5N・m
〈垂直偏波受信時〉
金具固定ボルト2本をはずしてマスト取付金具を一度Uステーより取りはずし、垂直偏波用穴に固定してください。
締付けトルク: 3~3.5N・m

⑤ 給電部への同軸ケーブルの接続方法
F形接栓の心線が曲がっていないことを確かめてから給電部へ同軸ケーブルをまっすぐに挿入し、接続ナットを締め付けて固定してください。
(ご注意) 防水キャップは給電部の防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んでください。
締付けトルク: 1.5~2N・m

〈同軸ケーブルへのF-5接栓(別売)の取付方法〉
防水キャップはケーブルの太さに合わせてカットし、先端加工の前に同軸ケーブルを通しておいてください。
(単位: mm)
斜めにカットする
心線をニッパで通す
リングを挿入し、絶縁体を差し込む
接続ナットを締め付ける
リングをベンチなどではさんで締め付ける
先端を加工する
使用する同軸ケーブルに適した接栓をお使いください。
同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけたり、指定以外の加工をしないでください。また心線と編組を接触させないでください。

＜付属品＞
防水キャップ 1個
固定バンド 1個

■規格特性	
素子数	14
使用チャンネル(ch.)	13~34
インピーダンス(Ω)	75
動作利得(dB)	10.6~13.5
V S W R	2.2以下
前後比(dB)	18以上
半値幅(度)	26~42
適合マスト径(mm)	φ22~56
組立寸法(mm)	518×1157×420
質量(kg)	1.75

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの	一般的な注意事項
注意 誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの	一般的な禁止事項
	機器の分解禁止
	接触禁止
	指示を守る

工事に関しては販売店などに相談する

アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店や工事店にご相談ください。

次の場所に設置しない

- 送配電線、ネオンサイン、電車の架線や電話線などの近く
- アンテナが倒れた場合、感電、断線の原因となります。
- 煙突の付近や高温になる場所
- 火災の原因となります。
- 強度の不足する場所、不安定な場所
- 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 人や車両の通行の妨げになる場所
- アンテナにぶつかったり、接触してけがや破損の原因となります。

設置、お手入れ、点検時は次のことに注意する

警告

- 足場と安全を確保し、作業時は手袋をするなど安全対策を行ってください。落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。
- 風の強い日や雨、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険ですから設置工事やお手入れ、点検をしないでください。
- 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- アンテナの部品や工具類をひもで結ぶなど落下防止に留意して作業してください。部品や工具類を落とすと、故障やけがの原因となります。
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力(トルク)指定がある場合はその力(トルク)で締め付け、堅固に固定してください。
- 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。
- そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- アンテナや取付装置などに乗ったり、無理な力を加えないでください。
- 倒れたりして、破損、けがの原因となります。
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。
- 管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

注意

雷が鳴り出したらアンテナやケーブルに触れない

落雷と誘導雷により感電の原因となります。

ケーブルに無理な力を加えたり傷つけない

接続するケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。ケーブルなどを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)、引っばったりしないでください。

電源コード、同軸ケーブルなどが傷んだときは(心線の露出、断線など)お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

内部の分解・調整・修理はしない

アンテナの給電部のフタは開けないでください。防水不良による故障の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ご注意

- 蝶ボルトなどのネジ類は、ベンチなどの工具を用いてしっかりと締め付けてください。
- 同軸ケーブルは、心線と編組が絶対に接触しないよう注意して処理してください。
- 同一マストに複数のアンテナを取り付ける場合は、できるだけ間隔をあけてください。(推奨間隔: 1m以上)
- 給電部のフタは開けないでください。防水不良による故障の原因となります。

ECO 土壌汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質や人体に悪影響を及ぼす物質を使用しない事など厳しい自社基準をクリアした製品にECOマークを表示しています。

JEITA DH DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会 で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。